

日本全国の逸品・特産品から厳選した
おいしくて安心な食品をお届けするサイトです。

新鮮な農水産物から加工食品、飲料、デザートまで、数々の名品をお手軽に



シャインマスカットを始め16種のブドウを栽培している長野県上田市の飯塚芳幸さん。県知事賞を7回受賞している匠です。



紀州備長炭を使ったひもの「備長梅左衛門」。旬の美味しさを閉じ込め、旨みを逃さず驚くほどジューシーなひものに仕上がっています。



岐阜県下呂で発見されたお米「龍の瞳」。通常のお米の1.5倍の大きさがあり、その大きな米粒に旨み、甘味がつまっています。

食文化と生産者の想いを大切に 本当に良いものを食べる喜びを共有

安心堂では、専属の特産品ハンターが日本各地を回り、これぞという逸品を探し出しお客様に紹介いたします。匠ともいえる技術と経験を持った農業者や、一流シェフによって作られた逸品、安心安全にこだわって作られた無添加食品など、日本全国にあるお宝食材・食品をお届けいたします。

www.anshindo-d.jp

今すぐ
チェック!

安心堂 食品 検索



株式会社ドトール・日レスホールディングス
URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
TEL 03-5459-9178 (代表)

DOCTOR
株式会社ドトールコーヒー
www.doutor.co.jp

NRS
日本レストランシステム株式会社
www.n-rs.co.jp

UD FONT
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



VOC(揮発性有機化合物)の発生が少ない、ベジタブルインクを使用しています。



DNREPORT Vol.12

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2014年2月期 第2四半期報告書



Contents

特集

「白ドトール」による 店舗改装戦略	1
最新スポット紹介	5
新メニューカレンダー	7
連結決算ハイライト	9
マネジメントメッセージ	10
事業別の概況	13
連結財務諸表	14
会社概要	15
株主情報	17

店舗リニューアルでイメージ一新 さらなるブランド価値向上へ

DOUTOR

全国各地でドトールコーヒーショップの店舗リニューアルが進行しています。ブランドイメージ向上を目指し、新しいデザインタイプの店舗が続々とオープン。通称「白ドトール」の全貌をご紹介します。



外観

デザインコンセプトは、シンプルかつミニマム。白か黒の外装に「DOUTOR」のロゴのみを配置し、すっきりとした印象を演出しています。余分な装飾や色を取り除くことで、遠くからでも一目でドトールと判別できる視認性向上にも貢献しています。

「白ドトール」のコンセプトは 清潔感のあるカフェ

誕生から30年以上が経ったドトールコーヒーショップ。おいしさへの信頼という確固たるブランド価値を築いてきた一方で、「タバコくさい」「狭い」「古い」といったお客様の声も届けられていました。そうしたネガティブなイメージを一新するため、“清潔感のあるカフェ”をコンセプトに店舗改装に取り組んでいます。

「白ドトール」カラーの意味

基本カラー

■ 何にでも染められる無垢な色。清潔感、リセットを表現。

■ すべての色を内包する色。静かな力強さを表現。

+

アクセントカラー

■ 光のイメージから、躍動感、希望、期待感を表現。

変わるものと変わらないもの。白と黒という相反する面を基本色に、コーポレートカラーの黄色でアクセントを加えています。

内装

白をベースに木目調の色合いを取り入れ、洗練されたシンプルモダンの中にもやわらかな温かみを感じられる内装。従来のドトールコーヒーショップのデザイン性に、より現代的な感性を追加し、幅広い年齢層のお客様に受け入れられるデザインを実現しています。

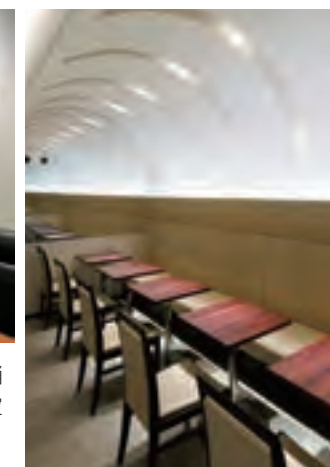


居心地のよさを演出する くつろぎのカフェ空間

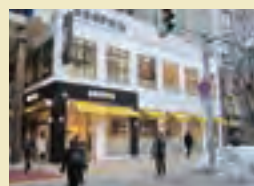
単に飲食目的だけでなく、お客様が思い思いの時間を過ごされるのがカフェの特徴です。落ち着いた知的空間として書棚をイメージした壁面装飾や、癒しの空間に欠かせないグリーンの植栽など、居心地のよさが一つの付加価値となる店づくりを行っています。



壁や柱などに鏡を多用することで、閉鎖感を解消するとともに壁面との連続性を演出。店舗内の空間に奥行きと広がりをもたらします。



あなたの街にも「白ドトール」着々進行中



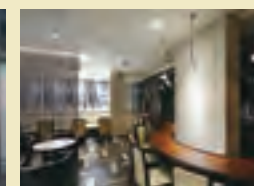
札幌狸小路店



仙台定禅寺通り店



外苑前店

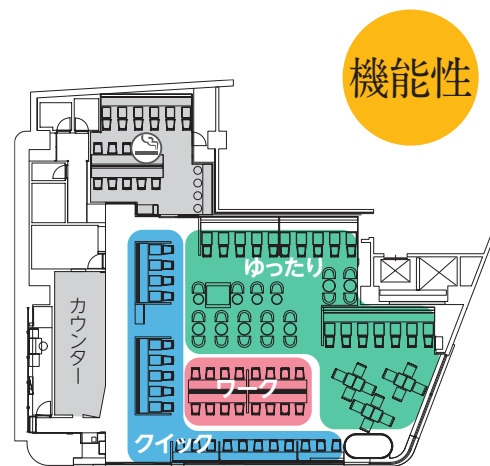


駒沢大学駅前店



大須万松寺通店





機能性

クイック

短時間でさっさとご利用になるお客様向けに、レジ前や出入口付近はカウンター席を設置。



ワーク

仕事や勉強目的のお客様向けワークスペース。電子機器利用に備え、AC電源を確保。



ゆったり

グループでのご利用や休憩目的のお客様には、ソファやゆったり過ごせるイスを配置。



お客様の用途に合わせ客席をゾーニング

一つの店舗でも、お客様の利用動機により客席での過ごし方は異なります。そこで、白ドトールでは、用途に応じて客席を「クイック」「ワーク」「ゆったり」の3つに区分するゾーニング(用途別区分)の考え方を取り入れています。それぞれに見合ったイスやテーブルを配置することは、お客様の利便性をより高めることにもつながります。



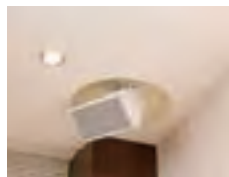
●LED照明と高効率空調

照明は順次LEDを導入しています。商品がおいしそうに見え、かつ読書にも最適な照度設定に。ランニングコスト削減には高効率インバーター搭載の空調設備も。



●完全分煙化

白ドトールとしての必須条件に完全分煙化が挙げられます。従来の負のイメージを払拭すべく、ガラスパーテーションとエアカーテンでタバコの煙をシャットアウト。



●BGM環境の改善

時間帯に合わせて選曲し、お客様の会話を邪魔しない音質や音楽に配慮しています。店内のどの客席でも心地よいBGMが、上質なカフェ空間を演出します。



●トイレ環境の向上

トイレもお客様の来店動機の一つととらえ、清潔さや快適さはもちろんのこと、全身を映す鏡や荷物を置くスペースを確保するなど、機能性の向上を図っています。

「白ドトール」による収益向上、そして今後の展開

客席調査に基づく改装で機会ロスを低減

各店舗の改装にあたっては、事前に「客席調査」を実施しています。これは、客席の利用時間や空席状況を曜日ごとに細かく定点観測するもので、実際に店舗を訪れるお客様のニーズや利用傾向に合わせた店づくりを可能にします。機会ロスを無くし稼働率を上げることで収益向上につなげる、商圈環境に即したリニューアルこそが、白ドトール改装の最大の特徴です。

改装後のお客様の声

●外観について

色のコントラストが目立ってわかりやすい

清潔感や高級感がある

●タバコのおいについて

特に気にならない

●内装インテリアについて

ゆったりした印象でリラックスできる

おしゃれで落ち着いた雰囲気

イスの座り心地がちょうどよい

分煙がきっちりできている

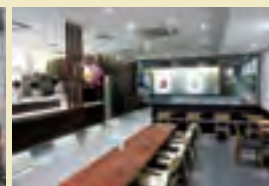


ローコスト化で全国展開加速 さらなるブランド価値向上へ

白ドトールの基本条件とデザインクオリティを満たしつつ、改装工事のローコスト化を図っています。各アイテムの規格統一、海外生産への切り替え、発注ロットの調整、資材・機器の商流見直し等により、早期の全店改装を目指し、チェーン全体のブランド価値向上に努めてまいります。



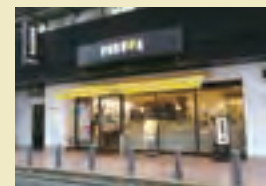
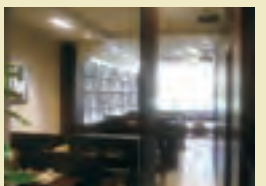
四条烏丸店



ホワイティうめだセンターモール店



神戸三宮店



博多駅いきいき通り店



ますます広がる
「白ドトール」に
ご期待ください

最新スポット紹介

焼きたてパンケーキ専門店 「ミーズパンケーキ」 原宿に2号店をオープン

女性心をくすぐる、ハートの形のパンケーキ

パンケーキ専門店「ミーズパンケーキ」の1号店が、2012年5月渋谷にオープンしました。生地や材料にこだわったオリジナルのハート型パンケーキが、おいしくて盛り付けがきれいなどと若い女性を中心に人気を集めています。フルーツやチョコをのせたデザートパンケーキやお食事にもなるミールパンケーキ、季節限定メニューもとり揃え、シーンに合わせてお楽しみいただけます。



人気の
原宿店限定メニュー
レモンカスタード
パンケーキ



若者でにぎわう原宿へ進出

2013年8月、人気のパンケーキ店が集まる激戦区原宿に2号店をオープン。欧米の女の子の部屋をイメージした店内は、キラキラしたシャンデリアや華やかな壁紙、ふかふかのソファなどをあしらひ、女の子なら誰もが一度は憧れる空間を演出しています。限定メニューやグループ向けの個室予約など、原宿店のみのサービスも実施中です。



♥ Mee's Pancake 原宿店

所在地 東京都渋谷区神宮前
4-32-13 JPR神宮前432-2F
客席数 59席(全席禁煙)
営業時間 平日 11:00~22:00(LO21:20)
土日祝 9:00~22:00(LO21:20)

「星乃珈琲店」好調！ 早期に100店舗体制へ

4月にオープンした六本木店も順調

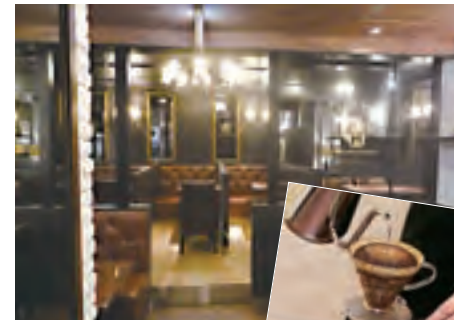
2013年8月末現在61店舗と、着実に成長している「星乃珈琲店」。4月にオープンした都市型店舗・六本木店も、おかげさまで多くのお客様で賑わっています。引き続き、全国各地へ積極出店し、グループ会社のノウハウを活かしたフランチャイズ展開も含め、100店舗体制を目指しております。

♥ 星乃珈琲店 六本木店

所在地 東京都港区六本木7-14-7
トリニティビル1F
客席数 58席
営業時間 9:00~23:00(LO 22:30)



星乃珈琲店



「牛たん焼き仙台辺見」東海地区に進出！

極上厚切り牛たんを、より多くのお客様に

仙台名物の牛たん焼き専門店「牛たん焼き仙台辺見」は、現在15店舗。首都圏だけでなく、西日本にも店舗を拡大し、9月には東海地区に初出店しました。厳選した上質の牛たんを一枚一枚丁寧に手切りし、牛たん本来の美味しさを味わうために、味付けは塩と胡椒だけ。ヘルシーで栄養価満点の牛たんを、より多くのお客様にお楽しみいただけるよう、全国展開へ向けて成長を続けていきます。

♥ 牛たん焼き 仙台辺見 栄店

所在地 愛知県名古屋市中区錦3-15-13先
セントラルパーク地下街
客席数 36席
営業時間 11:00~21:30(LO 21:00)

牛たん焼き
仙台辺見



新メニューカレンダー《2013.3-2013.8》

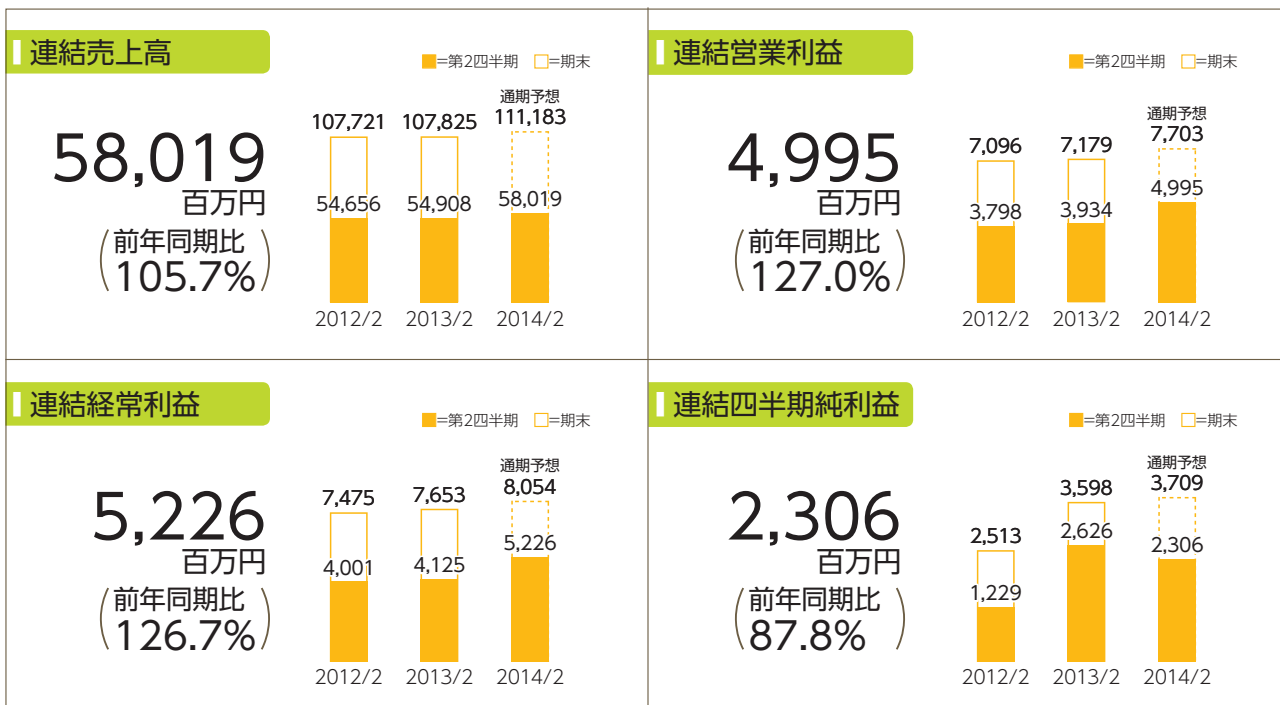
季節の移り変わりを感じながら味わえる「おいしさ」の 感動をお届けします。

季節ごとに新メニューは随時展開しています。
詳しくは当社ウェブサイトwww.dnh.co.jpから各ブランドのホームページへ



第2四半期の
ポイント

- 「星乃珈琲店」事業拡大。早期100店舗体制へ
- ドトールコーヒーショップ改装拡大。ブランド価値向上へ
- チルド飲料など卸売事業拡大。売上に大きく貢献
- コストコントロールの徹底により、利益率が大きく上昇
- 1株当たり中間配当13円。安定した利益還元を実施



代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則

時代の変化を捉えた改装・出店戦略により、増収増益基調を維持してまいります。

ご挨拶

株主の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当社事業への格別のご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権による経済対策や金融政策の効果に対する期待感から景気回復の兆しが見受けられ、また個人消費におきましても宝飾品をはじめとした高額品を中心に持ち直しの動きが見られる半面、消費全般の基調は、物価上昇への懸念から節約志向がいまだ強く、引き続き楽観視できない状況で推移しました。

外食業界におきましても、円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格の上昇により、国内景気を下押しするさまざまなリスクが存在することから、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、「外食業界におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で

26店舗(直営店14店舗、加盟店11店舗、海外直営店1店舗)を新規出店しました。

既存事業においては、積極的な新メニュー開発や新規業態の立ち上げ、顧客の嗜好にあわせグループ全体で16店舗の業態変更をしたほか、業務の効率化を推進するとともに、ブランド価値の向上を目指した改装を大きく推進するなど、事業基盤の強化に努めました。

海外店舗展開については、香港の「TMT Plaza」に「洋麺屋 五右衛門」を出店し、当第2四半期連結累計期間末時点の海外店舗数は、シンガポール16店舗、台湾5店舗、中国4店舗、香港2店舗、韓国1店舗、フィリピン1店舗の合計29店舗となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長と新業態などによるグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大などによる成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 当第2四半期の業績についてコメントを

当第2四半期の業績、累計の売上高については、カフェ事業およびレストラン事業ともに、ブランド価値の向上を目的とした店舗改装やお客様の嗜好にあわせた業態変更などを推進したほか、季節にあわせた魅力ある商品作りに注力し、新商品を継続的に発売するなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めた結果、前年同期比で既存店売上高が、ドトールコーヒーで100.0%、日本レストランシステムで103.4%となりました。

また、卸売事業においても、コーヒーの卸部門にお

いて、ドリップコーヒーやコーヒー原料の販路拡大、スーパーなど量販店向け商品の開発や販売の拡大、チルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力し、業容の拡大に努めた結果、売上を大きく伸ばすことができました。さらに、洋菓子部門における百貨店など外販領域でも着実に実績を積み重ね、売上を伸ばしたことにより、卸売事業においても前年同期を大きく上回る結果を残すことができました。

販売管理費については、卸部門の配送費や支払手数料の増加および「星乃珈琲店」の多店舗化に伴う人件費の増加による金額増はございますが、ともに売上の増加に伴うもので、経費を上回る売上・利益の実績を出していることもあり、順調に推移していると考えております。また、人件費についてはシフト管理を徹底、その他の経費についても、ひとつひとつ見直しを図り、着実に経費の削減効果が出てきており、経費全体では売上対比で前年同期比を大きく改善することができました。この結果、売上対比における営業利益率は前年同期7.2%から8.6%に大きく上昇しております。

今後も売上の拡大とコスト管理の徹底を両立していくことで企業価値を高めてまいります。

■ 通期見通しについてお聞かせください

2014年2月期は、売上高111,183百万円(前期比

103.1%)、営業利益7,703百万円(前期比107.3%)、経常利益8,054百万円(前期比105.2%)、当期純利益3,709百万円(前期比103.1%)を計画しております。

当期においては、ブランド価値向上を目的としたドトールコーヒーショップの改装と、「星乃珈琲店」の新規出店を中心に業務の拡大を図っております。お蔭様で当第2四半期までの累計期間においては、計画を上回る業績を残せたこともあり、下期においては、当初計画以上の改装と新規出店を拡大させていく所存です。

将来に向けた中長期的な視点にたって、新規出店や改装を積極的に行うことにより、売上の増大に努めるとともに、各業態のブランド価値向上に力を入れてまいります。

■ 株主の皆様方へ

外食業界を取り巻く環境は低価格競争が続く中、個人所得の低迷を背景とした消費者の生活防衛意識の高まりによる外食頻度の減少、業界の垣根を越えた業態間の競争が激化するなど、厳しい経営環境が継続しております。このような環境下、当社グループではリ・ブランディングや新商品の開発を含めた商品力のアップ、新規出店、新業態開発のほか、グループのノウハウを共有化して事業会社間の融合を進化させることにより収益シナジーを創出していくことで高収益を目指します。と同

時に、高成長が期待できるアジアを中心とした海外事業の本格的な展開を図り、事業拡大に向けた具体的な動きを加速化しております。今後は高収益と高成長を果たせる企業として、「外食業界のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指すとともに、グローバル展開による企業価値の増大を目指してまいります。

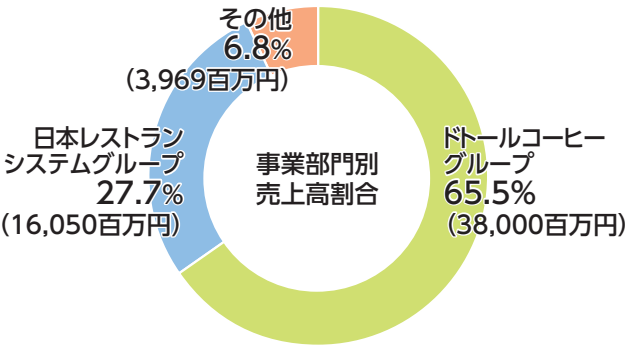
株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長
山内 実



代表取締役社長
星野 正則



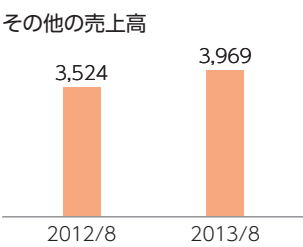
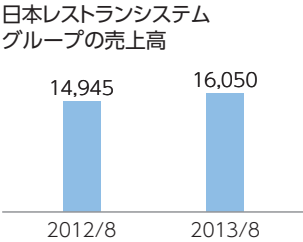
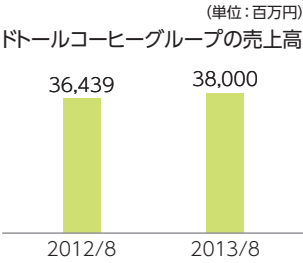
●ドトールコーヒーグループ

カフェ事業においては、季節に合わせた魅力ある商品作りを継続するとともに、本年度よりさらに注力している「朝だけセット(モーニング)」、「昼のミラノサンド」、「ティータイムのケーキセット」といった時間帯別のセットメニューや新商品施策がお客様のご支持を頂くなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めました。また、デザイン性の高い「白ドトール」タイプの新規出店や既存店の改装を積極的に展開するなど、ブランド力の強化に努めたことも奏功し、既存店の売上高は前年同期比プラスの結果を出すことができました。

卸売事業においては、ドリップコーヒーやコーヒー原料などの販路および取引先の拡大により、着実に売上を伸ばすとともに、コンビニエンス・ストアを中心にチルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力し、業容の拡大に努めました。

●日本レストランシステムグループ

日本レストランシステムグループでは、「洋麺屋 五右衛門」を中心に既存メニューの見直しや季節のおすすめメニューなど新しい商品を加え、既存事業のブラッシュアップに注力しました。京風スパゲッティ「先斗入ル」を大阪あべのハルカスに、卵料理の「サロン卵と私」を広島にそれぞれ新規出店したほか、「星乃珈琲店」の多店舗化を積極的に展開しました。「星乃珈琲店」では東京の六本木に新規出店したほか、一部既存他店舗を「星乃珈琲店」へ業態変更するなど、お客様のご要望にお応えできるよう、店舗網の拡大に努めました。また、「牛たん焼き仙台辺見」や「卵と私」ブランドへの業態変更も実施いたしました。



●連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 2013年8月31日現在	前連結 会計年度末 2013年2月28日現在
資産の部		
流動資産	45,425	42,160
固定資産	64,924	63,805
有形固定資産	35,423	34,767
無形固定資産	916	1,406
投資その他の資産	28,585	27,632
資産合計	110,349	105,966
負債の部		
流動負債	17,394	14,956
固定負債	5,762	5,629
負債合計	23,157	20,585
純資産の部		
株主資本	86,569	84,890
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	62,496	60,816
自己株式	△2,785	△ 2,784
その他の包括利益累計額	503	409
その他有価証券評価差額金	27	50
繰延ヘッジ損益	406	331
為替換算調整勘定	69	27
少数株主持分	118	80
純資産合計	87,192	85,380
負債及び純資産合計	110,349	105,966

●連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2013年3月 1 日から 2013年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2012年3月 1 日から 2012年8月31日まで
売上高	58,019	54,908
売上原価	23,353	22,429
売上総利益	34,666	32,479
販売費及び一般管理費	29,670	28,545
営業利益	4,995	3,934
営業外収益	267	287
営業外費用	36	96
経常利益	5,226	4,125
特別利益	108	714
特別損失	971	477
税金等調整前四半期純利益	4,363	4,361
法人税、住民税及び事業税	2,056	1,748
少数株主損益調整前四半期純利益	2,306	2,613
少数株主利益又は損失(△)	0	△ 12
四半期純利益	2,306	2,626

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2013年3月 1 日から 2013年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2012年3月 1 日から 2012年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,990	5,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 597	△ 3,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,382	△ 309
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	△ 54
現金及び現金同等物の増加額	4,127	2,007
現金及び現金同等物の期首残高	27,874	20,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,001	22,905

株式会社ドトール・日レスホールディングス

設立 2007年10月1日
資本金 10億円
従業員数 2,438名(連結)
本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
03-5459-9178(代表)
事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
03-5459-9178(代表)
U R L http://www.dnh.co.jp

●取締役

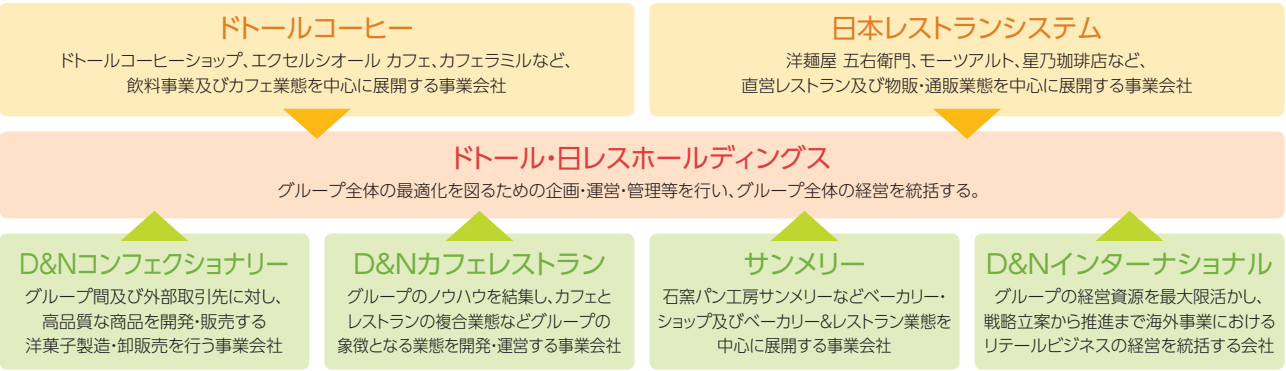
代表取締役会長 山内 実
代表取締役社長 星野 正則
常務取締役 木高 毅史
取締役 大林 韶史
取締役 鳥羽 豊
取締役 稲森 六郎
取締役 青木 幸隆
取締役 橋本 邦夫
(社外)取締役 五味 淳吾
(社外)取締役 星 秀明

●監査役

常勤監査役 郷井 義郎
常勤監査役 宮林 哲夫
(社外)監査役 梶川 浩
(社外)監査役 吉島 重鐵

(2013年8月31日現在)

●グループ事業の概況



株式会社ドトールコーヒー

設立 1962年4月
資本金 111億41百万円
本社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
03-5459-9008
U R L http://www.doutor.co.jp

日本レストランシステム株式会社

設立 1973年6月
資本金 35億5百万円
本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
03-6743-7010
U R L http://www.n-rs.co.jp

D&Nコンフェクショナリー株式会社

設立 2008年8月 資本金 4億80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

設立 2008年12月 資本金 2億円

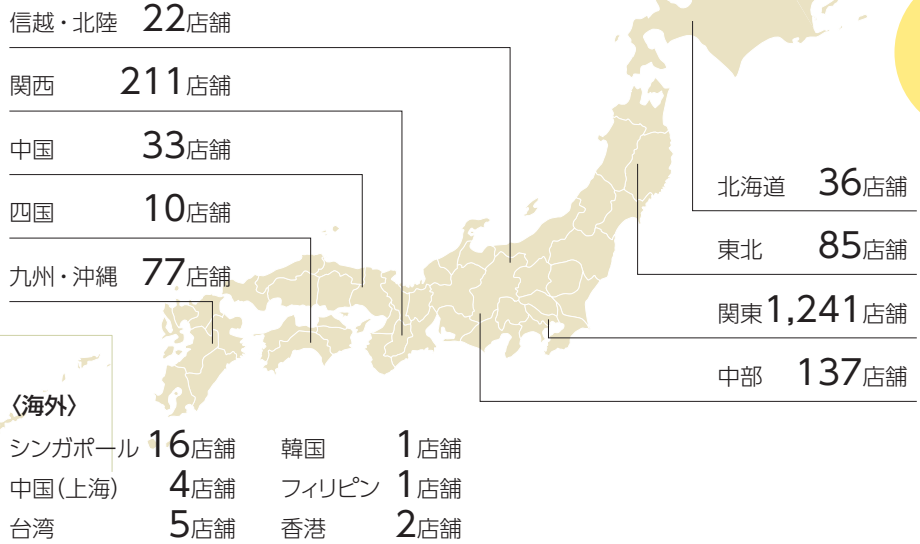
株式会社サンメリー

設立 1969年7月 資本金 50百万円

D&Nインターナショナル株式会社

設立 2011年8月 資本金 50百万円

●地域別店舗数



本誌掲載情報の詳細については
当社WEBサイトをご参照ください。
<http://www.dnh.co.jp>

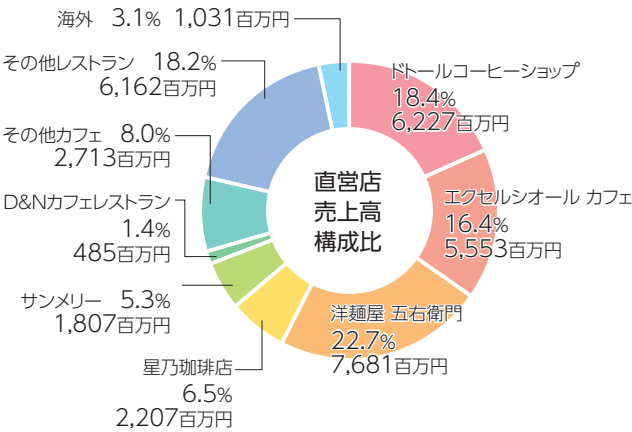


ドトール日レス

検索

●業態別店舗数 (2013年8月末)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,100	948
エクセルシオール カフェ	141	32
カフェ コロラド	72	70
洋麺屋 五右衛門	203	—
星乃珈琲店	61	—
サンメリー	38	—
海外	29	—
その他	237	4
合計	1,881	1,054



※直営店の売上高は総売上高の58.4%を占めます。

● 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	33,695名

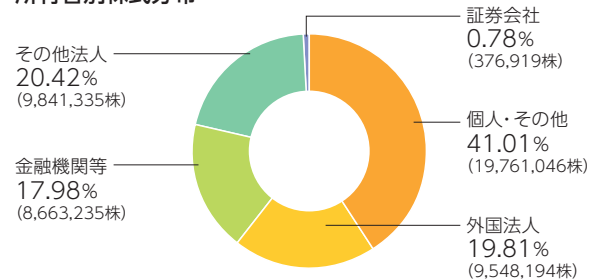
● 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 裕史	6,748	14.00
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.74
鳥羽 博道	2,430	5.04
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,114	4.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,702	3.53
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.74
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカン クライアント	969	2.01
山内 実	924	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	847	1.76

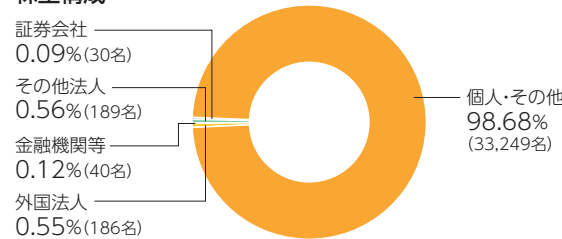
※持株比率は自己株式(2,419千株／4.78%)を控除しております。

● 株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



● 株式に関するお知らせ

● 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。
確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

● 株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL：0120-288-324
●単元未満株式の買取請求		
●単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項		
●未払い配当金のお支払	上記みずほ信託銀行のほか、みずほ銀行、みずほ証券でもお取扱いいたします。	

(みずほ証券では取次のみとなります。)

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催します。
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告 によることができない事故その他のやむを得 ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲 載して行います。)
電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

お問い合わせ先(株主名簿管理人) 取次所	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 みずほ信託銀行株式会社 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所
-------------------------	---